

君に事へ、死ぬるも生きるもこの道を守り、只自分のして居ることがよいことであるか、悪いかといふことだけを考へなければならぬだけである。自分のして居ることが成功するか失敗するかは運である」と言つた。

大正六年度海軍各學校入學試験問題

(一)左ノ諸題ヲ漢譯セヨ。

此
13

(イ)油斷大敵。此ノ一語は須臾モ忘ル可カラズ。

(ロ)人孰カ過ナカラン、能ク之ヲ改ムルヲ貴シトナス。

(二)左ノ漢文ヲ假名交リ文ニ書キ改メヨ。

夫運籌帷幄之中決勝千里之外吾不如子房鎮國家撫百姓給餽餉不繼飽道吾不如蕭何連百萬之衆戰必勝攻必取吾不如韓信此三人者皆人傑也。

(三)左ノ文ヲ解釋セヨ。

心清時少。亂時常多。其清時視明聽聰。四體不待羈束。而自然恭謹。其亂時反是如此何也。蓋用心未熟。客慮多而常心少也。習俗之心未去。而實心未完也。

大正七年度海軍兵學校入學試験問題

(一)左ノ熟語ノ讀方及意義ヲ記セ。

- 1 欽定 2 揣摩 3 貔貅 4 杜撰 5 肯綮
- 6 私淑 7 鑿鑿 8 巨擘 9 軒輊 10 白眉

(二)左ノ文中傍線アル語句ヲ解釋セヨ。

宮中、府中、俱爲一體。陟罰臧否、不宜異同。若有作姦犯科及爲忠善者、宜付有司、論其刑賞、以昭陛下平明之治。不宜偏私、使內外異法也。

(三)同前

臣少多疾病、九歲不行、零丁孤苦、至千成立。既無伯叔、終鮮兄弟、門衰祚薄、晚有兒息。外無君功疆近之親、內無應門五尺之童。孳孳子立、形影相弔。

(四)同前

凡所遭患難變故、屈辱讒謗、拂逆之事、皆天之所、以老吾才。莫非砥礪切磋之地。君子當慮所以處之。欲徒免之、可。

大正八年度海軍兵學校入學試験問題

(一)左ノ文中傍線ヲ施シタル部分ヲ解釋セヨ。

惠文嘗得楚和氏璧、秦昭王請以十五城易之、欲不與。畏秦強、欲與、恐見欺、蔣相如願奉璧往、城不入、則臣請完璧而歸。既至、秦王無意償城、相如乃給取璧、怒髮指冠、卻立柱下、曰、臣頭與璧俱碎、遺從者懷璧間行、先歸身待命於秦、秦昭王賢而歸之。

(二)左ノ文ヲ解釋セヨ。

夫南面聽天下、其所託重而恃力者、惟相與將耳、相爲天子得人於朝廷、將爲天子得文武士於幕下、求內外無不治不可得之。

(三)左ノ語句を解釋セヨ。

(イ)草創 (ロ)從德 (ハ)翼贊 (ニ)部署 (ホ)造詣 (ヘ)甲兵

大正九年度海軍兵學校入學試験問題

(一)左ノ文中傍線ヲ施シタル部分ヲ解釋セヨ。

楚材(一)天資英邁 負出(二)人表(三) 雖案牘滿前、酬答不失其宜。正色立朝不爲勢屈。欲以身徇天下。每陳國家利病、生民休戚、辭色懇切、太宗嘗曰。汝又欲爲百姓哭耶。

(二)左ノ文ヲ解釋セヨ。

武田上杉巧於用兵、而拙於收利。織田豐臣拙於用兵、而巧於收利。右府之用兵、猶有巧之可見而亟用亟輟、所收償不所用。至太閤、其用兵無有他巧、而天下莫能支吾、何哉。曰。彼僥倖而得之、蓋有命焉。故不必善用兵而能取天下。

大正六年度海軍兵學校入學試験問題解答

(一)(イ)油斷大敵。此一語不可須臾忘。

(ロ)人孰無過。能改之爲貴。

(二)夫れ籌を帷幄の中に運らし、勝を千里の外に決するは、吾子房に如かず。國家を鎮め、百姓を撫し、餽餉を給し、糧道を絶たざるは、吾蕭何に如かず、百萬の衆を連れて、戦へば必ず勝ち、攻むれば必ず取るは、吾韓信に如かず。此の三人は

皆人傑なり。

(三)心が清く澄んで落ちついて居ることは滅多になく、心の亂れて居る時は多い。その心の落ちついて居るときには物を見聞してもはつきりと解る。手足は無理をしなくても、自然と態度が恭しく謹むやうになり。心の亂れて居るときは、これと反對である。それはどういふ譯であらうか。それは心のもち方の修養が足りないのである。そのために雑念が多く起つて、ために正しい考へが妨げられるのである。世俗なみのつまらない心がまだなくならず、着實な心が未だ充分出来ないからである。

大正七年度海軍兵學校入學試験問題解答

(一)1 救命により定めること。2 推測すること。3 軍隊。4 書物などの誤の多いこと。

(二)5 肝心な所。6 ひそかに慕ふこと。7 年とつて元氣なこと。8 他の多くのものに傑出したもの。9 差のあること。10 一番勝れたもの。

(三)(イ)善いものをすゝめ善からざるものを罰する場合によつて、その賞罰に差異を設けてはいけない。(ロ)役人に申しつけてその賞罰を定め、陛下の公平に政治をされることをあきらかに世の中に示すがよい、そして、依怙最負をして宮中府中によつて賞罰に差異を設けてはいけない。

(四)(イ)零落して、親を失ひ苦勞をして成長した。

(ロ)伯叔父や兄弟のやうな力になる近い身内のものもなく、取次をする十二三歳の子供もなく、全くひとりぼつちであつた。

(四)すべて経験する所の苦しみや、事變や、辱しめや、悪くいられることや、自分の心に適はぬことは、皆天が自分の才能を老熟させ、みがき上げてくれるのである。

學問あり道理に明らかな人は、かういふ場合には、之に對してどうすべきかといふことを考へ、ひやみにそれらの苦しみからのがれようとしてはならん。

大正八年度海軍兵學校入學試験問題解答

(一)(イ)やるまいと思へば強い秦の國が恐ろしいし、やらうとすれば、だまされる恐れがある。

(ロ)城が手に入らねば、自分は玉を安全に持つて歸らうと言つて、秦の方に行つたが、秦の王は城を代りにくれる氣はなかつた。

(ハ)ついでに行つたものに玉を持たせて間道を通つてさへ歸らし、自分は秦の處分を待つて居たが、秦の昭王は相如を賢い人であるとして許して國に歸らした。

(ニ)一體、その位について天下の政治をとる天子が、重い任務をまかせ、待みにする

所(ところ)のものは宰相と將軍とだけである。宰相は天子のために立派な人を朝廷に得、將軍は天子のために文武に秀でた人をその部下に得たならば、朝廷の内外の人々が、之を治めまいと思ふても治まらぬわけには行かない。

(三)(イ)物のでき上るはじめ。(ロ)すゝめる。(ハ)輔佐する。(ニ)受けもちの所。(ホ)學問の深さ。(ヘ)武装した兵士。鎧と武器。

大正九年度海軍兵各學校入學試験問題解答

(一)(一)生れつきがすぐれて、ずつと人並よりとびぬけて居た。

(二)机上の文書が積みかさなつて一杯あつても、それを適當に處理した。

(三)嚴そかに朝廷に居るときには、權勢あるものに屈服せず、自分の一身を世の中の犠牲にしようとした。

(四) 國家の利害をのべ、人民の喜憂をいふときには、いつでも言葉も顔付も非常に深切であつた。

(二) 武田氏と上杉氏は戦争は上手であつたが、その戦争の結果の利益をとることが下手であつた。織田氏豊臣氏は戦争は下手であつたが、利益を得ることは上手であつた。織田信長の戦争をする場合には、謀計もなか／＼あつたが、その謀計を度々用ひたり、やめたりして、得る所の利益は戦争で失つたものを償ふに足りなかつた。豊臣秀吉などは、戦争をする場合に別に器用な謀計を廻したわけでもなかつた。それに天下の人々が、秀吉をふせぐことができなかつたのは何故であらうか。秀吉は、こぼれ幸でこのやうになつたのである。思ふに天命を受けて居たのである。それ故、必ずしも上手に戦争をしなくても天下を取ることが出来たのである。

大正六年度東京高等商業學校入學試験問題

左ノ文章ニ返點送假名ヲ附ノ傍線ノ箇所ハ餘白ニ解釋スベシ。

史天澤帥諸軍南侵、有疾而還、尋卒、先是世祖遣暨馳視、天澤附奏曰、臣大限有終、死不足惜、第願天兵渡江、以殺掠爲戒、言訖而卒、天澤忠亮有大節、出入將相、近五十年、柱石四朝、師表百辟、可謂社稷之臣、其視富貴權勢、斂迹退避、若將浼之者、故能善始令終、爲開先臣、

大正七年度東京高等商業學校入學試験問題

(一) 左ノ文章ニ返點、送假名ヲ施シ傍線ノ箇所ヲ解釋スベシ。

大行天皇、德配兩儀、明竝三辰、維智維勇、乃聖乃神、夙齡騰極、運膺維新、宿

氛蕩滌、道協天人。

(二)同前

予駑駘也、而有志於千里、以古人爲鞭、揮之以氣、以追騏驥風、寧中道而斃、不願蠢々然帖耳乎阜樞間也。

(三)同前

君子無終食之間違仁、造次必於是、顛沛必於是。

大正八年度東京高等商業學校入學試驗問題

左ノ文章中傍線ヲ附シタル箇所ヲ解釋スベシ。

當武尊征討之時、東國風氣未開、頑獷如荒外、況此地僻處海濱、黃茅白葦、人跡罕至、及中世以降、群雄角逐、鎌倉常爲戰場、與此地相距甚近、兵氣

充斥、刃交箭激、晨夕遑遑、室家不相保、今則聖明在上、海寓清寧、里民安居樂業、朝恬夕嬉、煦暉涵濡於化日光天之下、屢邀玉趾寵臨、拜清光於咫尺、警蹕所經、山若增而高、海若增而深、其爲榮幸、何可勝言哉、凡遊臨此地者、撫今懷古、俯仰低回、溯其所自、則忠愛之心、油然而生矣。

大正九年度東京高等商業學校入學試驗問題

左ノ文章中傍線ヲ附シタル箇所ヲ餘白ニ解釋スベシ

(一)上即位之三年、朝廷清明、百揆時叙、民安其生、風俗一變、異時薄夫鄙人、皆洗心易德、務爲忠厚、人人自重、恥言人過、中國無事、四譯稽首請命。
(二)無恒產而有恒心者、惟士爲能。

大正六年度東京高等商業學校入學試験問題解答

史天澤帥^ニ諸軍^ヲ南侵、有^リ疾^ヲ而還、尋卒、先^ニ是世祖遺^レ鑿^ニ馳^ニ視、天澤附奏曰、臣大限有^リ終、死不足^レ惜、第願^ニ天兵^ヲ渡^レ江、以^テ殺^シ掠^シ爲^シ戒、言訖而卒、天澤忠亮有^リ大節、出^テ入^リ將相、近^ニ五十年、柱^ニ石四朝、師^ニ表^ニ百辟、可^レ謂^ニ社稷^ノ之^レ臣、其視^ニ富貴權勢^ハ、斂^ニ迹^ヲ退^シ避、若^シ將^ニ挽^レ之^レ者、故能善^シ始^シ終、爲^ニ開元^ノ臣、臣大限云々——自分の生命は終らうとして居る。死といふことは決して氣にかけない。たゞ陛下の軍隊が揚子江を渡つて、敵國に攻め入つたならば、その人民を殺したり、貨財を掠奪したりしないやうに戒めてもらひたい。

柱石四朝云々——四代の天子に仕へ、國を脊負つて立つ臣下であり、多くの役人達の手本となつて居た。

若將^ニ挽^レ之^レ者云々——今にも之によごされさうだと恐れて居るやうであつた。それ故始めから終まで立派な人物として通つたのである。

大正七年度東京高等商業學校入學試験問題解答

(一)大行天皇、德配^ニ兩儀、明並^ニ三辰、維智^ニ維勇、乃聖^ニ乃神、夙齡^ニ騰極、運庸^ニ維新、宿氣^ニ蕩滌、道協^ニ天人。

大行天皇云々——大行天皇(崩御後まだ諡號を奉らぬ天子)は、その御恩の高いことは天地に匹敵し、英明なことは、日月星の明らかなやうであつた。

夙齡騰極云々——若く御即位になつたが、その時勢は、維新の際で、昔からつゞいて來た悪い習慣などを全く改め、そのおとりになつた道は天道にも人道にも適したものであつた。

(二)予驚駭也、而有志於千里、以古人爲鞭、揮之以氣、以追騏驎風、寧中道而斃、不願盡々然帖耳乎卓樞間也。

予驚駭云々——自分は愚かではあるが、大志をもつて居る。寧中道而斃云々——たとへ力足りず、途中で斃れても、なすこと無く、不遇な地位に甘んじて居るやうなことはしない。

(三)君子無終食之間違仁、造次必於是、顛沛必於是。成徳の人は僅か食事をする程の間でも、心の徳にそむくことなく、かりそめの時にでも、心の徳を基として行ひ、急な時にも心の徳を基として行ふ。

大正八年度東京高等商業學校入學試験問題解答

(イ)關東の風俗人氣が未開で、土人が頑固で、惡強いことも野蠻國と同じであつた。

(ロ)戰爭氣分に満ちて、刀で斬り合ひ、矢がとびちがつて、朝から晩まで心が落ちつかず、家を保つて居ることが出来ない。

(ハ)朝から晩まで吞氣に暮らし、萬物を育てる惠深い日光が世の中を照らすやうに、君の惠を天下の人々がうける。

(ニ)上を見、下を見感慨にうたれて、このやうになつた原因を考へた。

大正九年度東京高等商業學校入學試験問題解答

(一)朝廷がよく治り、すべての計畫が適當な時に行れた。

(ロ)その後、薄情な者も賤しい男も、皆心を改め、今迄とまるで異つて立派に道徳を行ひ、一心に手厚い行をし、皆の人が自分の行に氣をつけ、他人の悪いこと

五月廿五
大正十二年四月一日印刷
九月廿八
大正十二年四月十日發行

不許複製

受験参考 漢文詳解研究の力
定價金壹圓三十錢

著者 飯田 豊

東京市浅草区下平右衛門町九番地

發行者 岡村 庄兵衛

東京市麴町區飯田町四丁目三番地

印刷者 古川 健作

東京市麴町區飯田町四丁目三番地

印刷所 三榮印刷社

發行所

東京市浅草區
柳橋通 岡村書店

電話浅草四二〇四番◇振替東京一九〇六五番

入學試験之部

を批評するのを恥かしいことに思つた。

(ハ) 諸外國のものが敬意を表して服従した。

(二) 一定の生計を助ける産業がなくても、そのために自分の心を動かさず居られるのは、たとへば學問あり、道理に明らかな人ばかりである。

I have finished this book, but I become melancholy as I find the vanity in my mind.

I have a friended this book (a very better book)

五〇

□ 岡村書店發行英語書類 □

著者	書名	形状	定價	送料
星野久成 <small>マスタ、オア、アーツ</small>	新式英和辭典	洋小形本	一・五〇〇	六
山口造 森口吉	袖珍英和新辭典	同	・八五〇	四
同	袖珍和英新辭典	同	・八五〇	四
英語獨習會編	正大英語獨修初步	同	一・〇〇〇	六
早稻田大學講師 前田定之介	初心者之覚え易き英語	洋中形本	一・四〇〇	八
星野久成 <small>マスタ、オア、アーツ</small>	英文法研究の力	洋四六判本	一・三〇〇	八
同	和文英譯研究の力	同	一・三〇〇	八

□ 岡村書店發行英語書類 □

著者	書名	形状	定價	送料
星野久成 <small>マスタ、オア、アーツ</small>	英文和譯研究の力	洋四六判本	一・二〇〇	六
若目田武次	文法應用誤れる英文の正解法	洋中形本	一・〇〇〇	六
福永秀夫	英語商業書翰文	洋四六判本	一・二〇〇	八
早稻田大學講師 前田定之介	商業英語研究の力	同	一・〇〇〇	六
星野久成 <small>マスタ、オア、アーツ</small>	英文對照 キヤラクター獨習	洋中形本	一・三〇〇	八
同	ユース、オア、ライフ獨習	同	一・三〇〇	八
福永秀夫	同 ファイフティ、フエマス、ストリーズ獨習	同	一・一〇〇	六

□ 岡村書店發行英語書類 □

著者	書名	形状	定價	送料
英語獨習會編	大正 日英會話獨習	中形 洋本	・六〇〇	四
マスタ、ナブ、アーツ 星野久成	生き たる 實用英語一千字	中形 洋本	一・二〇〇	八
同	覚え 易き アクセントの原則	同	一・〇〇〇	六
開田伊平	英語會話教科書	四六判 洋本	・七五〇	六
早稻田大學講師 前田定之介	商業英語通信文 一巻	四六判	・七〇〇	六
同	同	同	・七〇〇	六
同	同 卷三	同	・八〇〇	六

□ 岡村書店發行英語書類 □

著者	書名	形状	定價	送料
福永秀夫	英文 對照 プツシング獨習	中形 洋本	一・三〇〇	八
英語獨習會編	同 イソップ獨習	同	一・〇〇〇	六
同	同 ナショナル、 リール、第一獨習	小形 洋本	・四〇〇	二
同	同 第二獨習	同	・六〇〇	四
同	同 第三獨習	同	・八五〇	六
同	同 第四獨習	同	一・二〇〇	八
早稻田大學講師 前田定之介	新式 日英手紙の書方	小形 洋本	・七〇〇	六

□ 岡村書店發行英語書類 □

著者	書名	形状	定價	送料
獨逸語專修會編	覺え易き獨逸語自修書	中形 洋本	一〇〇〇	六
ローマ字ひろめ會幹事 川副佳一郎	ローマ字小學讀本 一卷	四六判 洋本	・三〇〇	二
同	同 二卷	同	・三〇〇	二
同	ローマ字獨習	小形 洋本	・四〇〇	四
同	ローマ字手紙の書方	四六判	・五〇〇	四
鳴海要吉	國語ローマ字讀本	同	・二五〇	二
同	ローマ字新讀本	同	・二八〇	二

323

50/

終